

平成 26 年度(2014)の統計と事業

芳賀町総合情報館

目次

1 総合情報館の概要	1 p
(1) 設置の目的	
(2) 総合館としてのメリット	
(3) 開館までの経過	
(4) 建物の概要(主な施設の面積)	
(5) 平成 26 年度の組織	
2 図書館の統計と事業	3 p
(1) 開館日と入館者数	
(2) 貸出利用者数と貸出資料数	
(3) 新規登録者数	
(4) 受入資料数と除籍資料数	
(5) 所蔵資料数(概要)	
(6) 各種サービス	
(7) 団体貸出	
(8) 図書館の催事	
(9) 学校図書館との連携	
(10) 茂木町職員研修受入	
(11) 芳賀チャンネルDVDの貸出	
(12) 研修活動	
(13) その他	
3 博物館の統計と事業	9 p
(1) 企画展・普及教育事業の開催	
(2) 展示室等の貸出	
(3) 資料の収集	
(4) 保存環境整備	
(5) 資料の利用	
(6) 研修活動	
(7) その他	
4 文書館の統計と事業	14 p
(1) 資料の移管・収集	
(2) 資料の整理	
(3) 資料の燻蒸処理	
(4) 資料の利用と普及	
(5) 外部活動	
5 総合情報館の統計と事業	18 p
(1) 総合情報館運営協議会	
(2) 視察・施設見学	
(3) 館内施設利用実績	
(4) 広報紙の発行	
(5) 過年度からの主な利用実績の累計	
(6) その他	

1 総合情報館の概要

(1) 設置の目的

芳賀町総合情報館は、図書館・博物館・文書館の複合施設として、平成20年10月3日に開館した。芳賀町では、平成4年、公民館図書室が芳賀町民会館内に開室されていた。しかし、開架書架も満杯となり、閲覧コーナーの狭隘さ等図書室サービスを十分に展開することは出来ず、平成10年代に入り住民から図書館設置が要望され始めた。博物館施設については、昭和49年、旧南高根沢村役場庁舎を利用して郷土資料館が設置された。この施設は、平成12年、廃校となった与能小学校にその機能を移転し引続き運営していたが、十分に活用されているとは言い難い状況だった。文書館は、芳賀町史編さん事業がそのきっかけである。平成6年度から本格的に開始された事業が中盤に差し掛かった平成10年度の第五回芳賀町史編さん委員会において、収集資料の保存活用について意見が出されたことをきっかけに、文書館構想が浮上した。この頃より、編さん業務とともに、地方公文書館への視察や総務課所管であった町史編さん室を教育委員会に所管変更するなど将来の文書館を見据えた活動が行なわれるようになった。以上のような図書室、郷土資料館、町史編さん室の状況があり、芳賀町の町創りに対する理念等が集約された結果、図書館・博物館・文書館の機能を複合した総合情報館構想へと結実した。

そして、総合情報館は、町民と町が一体となって文化・地域・行政情報資源を収集活用し、社会の急速な変化に十分対応できる、新たな地域創造を図る新世紀芳賀町の生涯学習と文化活動の総合拠点とすることを目標とした。

(2) 総合館としてのメリット

規模の小さな単独館を別々に設置しても、いずれも不十分なものとなりがちである。そのため、総合情報館は町民のニーズの変化や情報の高度化にも対応しやすく、一体的に利用することでその利便性を高めることができるとし、機能の集約性をメリットとして掲げている。

(3) 開館までの経過

平成15年6月27日	第1回総合情報館(仮称)設立構想専門委員会
平成15年8月5日	第1回総合情報館(仮称)設立構想懇談会開催
平成15年8月～9月	各種団体からの意見聴取
平成15年9月12日～9月13日	専門委員会、懇談会合同研修会(茨城県八千代町、猿島町、三和町)
平成16年3月8日	専門委員会『芳賀町総合情報館(仮称)基本構想』提出
平成16年5月24日	第1回建設委員会開催
平成16年6月28日	第1回建設委員会専門部会開催
平成16年11月4日	建設委員会『(仮称)芳賀町総合情報館基本計画書』提出、第1回プロポーザル審査委員会開催
平成16年11月10日	基本設計に関するプロポーザル説明会(6社)
平成16年12月18日	第2回プロポーザル審査委員会開催、(株)日本設計の提案採用
平成16年12月28日	(株)日本設計と基本設計の業務委託契約を締結

平成 17 年 3 月 24 日	(株)日本設計より、基本設計図書納品
平成 17 年 4 月 1 日	生涯学習課に総合情報館推進係設置
平成 17 年 7 月 4 日	(株)日本設計と総合情報館実施設計業務委託契約締結
平成 17 年 11 月 30 日	(株)日本設計より、総合情報館実施設計図書納品
平成 18 年 3 月 18 日	総合情報館運営説明会開催
平成 18 年 6 月 2 日	飛島建設(株)と総合情報館建設工事請負契約締結
平成 18 年 9 月 20 日	基礎工事開始
平成 19 年 9 月 28 日	飛島建設(株)より、建設工事完了届提出
平成 19 年 12 月 21 日	愛称を「知恵の環館」に決定する
平成 20 年 4 月 1 日	芳賀町総合情報館設置管理条例制定
平成 20 年 7 月 20 日	総合情報館図書館プレオープン
平成 20 年 10 月 3 日	総合情報館落成式

(4) 建物の概要(主な施設の面積)

敷地面積	4,146.74 m ²	普通収蔵庫	149.25 m ²
建築面積	2,411.33 m ²	特別収蔵庫	48.96 m ²
延床面積	2,959.34 m ²	地域資料庫	185.75 m ²
図書館	963.66 m ²	体験学習室兼作業室	58.07 m ²
展示室 1	99.05 m ²	多目的室	88.45 m ²
展示室 2	134.95 m ²	会議室	14.01 m ²
構造規模	RC造、一部S造、地上 2 階		

(5) 平成 26 年度の組織

・芳賀町教育委員会—生涯学習課—総合情報館係—図書館・博物館・文書館

館長(生涯学習課長兼務)	1 名	主任係長	1 名
主査	1 名	主事	1 名
博物館学芸員(嘱託員)	1 名	図書館司書(嘱託員)	4 名
学校図書館司書(嘱託員)	4 名		
			13 名

2 図書館の統計と事業

(1) 開館日と入館者数

開館日数	297 日
入館者数	108,539 名
1 日平均入館者数	365 名
17 時以降入館者数	10,869 名
17 時以降平均入館者数	37 名

※入館者数は入館カウンターによる延人数

(2) 貸出利用者数と貸出資料数

貸出利用者数	30,041 名
町内貸出利用者数	14,723 名
貸出資料数	135,491 点
町内貸出資料数	63,744 点
1 日平均貸出利用者数	101 名
1 日平均貸出資料数	456 点

(3) 新規登録者数

新規登録者数	620 名
町内在住・在勤新規登録者数	322 名

(4) 受入資料数と除籍資料数

受入資料数(寄贈資料を含む)	6,258 点
受入新聞種数(タウン紙除く)	8 種類
受入雑誌種数	57 種類
除籍資料数	889 点

(5) 所蔵資料数(概要)

一般書	59,585 冊
児童書	17,505 冊
絵本	11,099 冊
紙芝居	640 冊
雑誌	1,222 冊
VHS(ビデオテープ)	1,304 点
DVD	1,235 点
CD	2,053 点
合計(点)	94,643 点

(6) 各種サービス

インターネットコーナー利用者数	483名
視聴コーナー利用者数	1,273名
コピーサービス件数	252件
資料リクエスト件数	323件
資料予約件数	4,078件
レファレンス件数	823件
他館相互貸借資料数(貸出数)	968件
他館相互貸借資料数(借受数)	234件

(7) 団体貸出

・定期的に以下の施設に児童書、絵本、紙芝居の団体貸出を行っている。

芳賀中学校	南高根沢ひばり保育園
芳賀北小学校	みずはし保育園
芳賀東小学校	祖母井保育園
芳賀南小学校	のぶ幼稚園
子育て支援センターあつとほーむ	

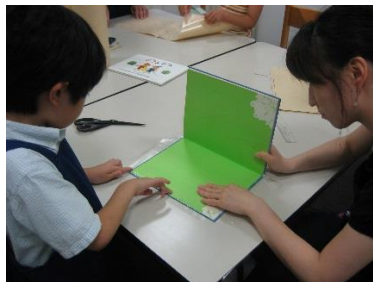
(8) 図書館の催事

① 特集展示

月	一般	月	児童
4月	4.23 サン・ジョルディの日	4月	春を感じて楽しもう～春の本いろいろ～
5月	タイトル5	5月	ことばであそぼう！
6月	サッカーワールドカップ ブラジル	6月	かえるいろいろ
7月	日本を旅する～47 都道府県を小説で巡ろう！～	7月	本の世界で冒険の旅へ
8月	ムーミンの世界	8月	暑さを忘れて楽しもう～祭りだ！花火だ！おばけ・・・でた～！～
9月	Re:再生	9月	宇宙を想像してみよう～読めばもっと好きになる～
10月	美味本	10月	魔女ずらーり
11月	毎日が記念日	11月	犬の本
12月	冬じたく	12月	おいしそう！な本
1月	防災力を身につけよう！	1月	本でさがそう！すてきな仕事
2月	お菓子な本	2月	ネコのほん
3月	新生活に向けて	3月	数の本

②1日図書館司書にチャレンジ

概 要	図書館の利用促進を目的として、窓口業務、本の配架、フィルムコート貼り付け作業等の中で簡単な図書館業務を体験してもらう。
開催期間	平成26年7月30日(水)～8月1日(金)
対 象 者	小学生
参加者数	各日2名(合計6名)



③雑誌のリサイクル市

開催期間	平成27年3月7日(土)～無くなり次第終了
概 要	保存期限切れで除籍した雑誌を館内で無料配布。雑誌付録もあわせて利用者に提供。雑誌、1人10冊/付録2点 今年度は生涯学習まつりにあわせて実施した。

④ブックスタート事業

概 要	赤ちゃんとその保護者に、楽しく温かいひと時が持たれることを願い、絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を手渡す活動。芳賀町保健センターにおいて、検診時に、乳幼児に本を配布し読み聞かせを行う。
実施回数	6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)
対 象 者	10か月健診幼児
配布者数	98名
開催場所	芳賀町保健センター
配布絵本	林明子 『おつきさまこんばんは』 まつおかたつひで 『ぴょーん』 平山和子 『くだもの』

⑤図書館おはなし会

概 要	子どもが楽しんで読書に親しむ機会を提供するため、町図書館おはなしボランティアの方々(10名)の協力を仰ぎ、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う「図書館おはなし会」を開催した。
対 象 者	乳幼児～小学校低学年
実 施 日	毎月第3土曜日 午前11時～
実施回数	10回
参加者数	59名

⑥図書館講座

概 要	子ども達に絵本の楽しみ方を分かってもらい、本好きの子どもを育てるために、日本文学協会の理事の高橋秀雄氏と児童文学作家のはやみず陽子氏の2名を講師に招き、講座「絵本の楽しさを学ぶ」を開催した。
対 象 者	幼児～小学生とその保護者
実 施 日	平成26年6月28日(土)
参加者数	12名

⑦子ども向け映画会

概 要	映画「実写版 忍たま乱太郎」の上映会。
対 象 者	幼児～小学生
実 施 日	平成26年8月20日(水)
参加者数	22名

⑧子ども向け夏休みスタンプラリー

概 要	夏休み期間中貸出1日1回につきスタンプを1個押印し、その個数により景品をプレゼントした。
対 象 者	幼児～小学生
実 施 日	平成26年7月19日(土)～8月28日(木)
参加者数	75名

⑨手あそび・おはなし会

概 要	児童文学作家のはやみず陽子氏を招いて、通常のおはなし会とは別に、手あそびを含めた特別なおはなし会を実施した。
対 象 者	幼児～小学生
実 施 日	平成27年3月7日(土)
参加者数	36名



雑誌のリサイクル市



手あそび・おはなし会

⑩芳賀中学校マイチャレンジ

概 要	芳賀中学校のマイチャレンジ事業に協力し、3名の生徒の受入を行い、実際の図書館業務について体験してもらった。
対 象 者	芳賀中学生
実 施 日	平成 26 年 11 月 19 日(水)～21 日(金)の 3 日間
受入人数	3 名(女子生徒 3 名)



⑪益子養護学校インターンシップ

概 要	栃木県立益子特別支援学校のインターンシップに協力し、3名の生徒の受入を行い、できる範囲内で図書館業務を体験してもらった。
対 象 者	益子特別支援学校生徒
実 施 日	平成 26 年 6 月 17 日(火)～18 日(水)の 2 日間
受入人数	3 名(女子生徒 2 名・男子生徒 1 名)

⑫社会人研修受入

受入日	内容
平成 26 年 8 月 5 日(火)	養護教諭 10 年目研修社会体験研修として、芳賀町立小学校養護教諭 1 名を受入、図書館業務等を体験してもらった。

⑬出張貸出

町の高齢者福祉事業である「芳賀町いきがいサロン」(八ツ木)に、職員が総合情報館の図書を持って出向き、高齢者に図書の出張貸出を行った。(毎月第1、第3火曜日実施)

(9)学校図書館との連携

児童、生徒の読書活動を推進し、町内各学校と総合情報館との連携を強化するために、学校図書館司書の所属を総合情報館係としている。学校図書館司書は、各学校図書館の運営を行うとともに、土日祝日、夏休み、蔵書点検期間等は、総合情報館図書館の業務に携わっている。

(10)茂木町職員研修受入

茂木町より図書館新設の為、職員の実務研修をお願いしたいとの依頼があり、総合情報館で茂木町職員(1名)を5月～7月の2ヶ月間受け入れた。期間中は、図書館の通常業務を中心に、選定方法や運営方法等について総合情報館職員が研修を行った。

(11)芳賀チャンネルDVDの貸出

芳賀チャンネルを視聴できない又は放送を見逃した町民の方の為に、芳賀チャンネルの放送内容を収めたDVDを作成し、総合情報館で貸出した。(企画課との共同事業)

(12) 研修活動等

職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修、会議に参加した。

研修日	研修内容
平成 26 年 5 月 14 日(水) ～15 日(木)	図書館・公民館図書室職員基礎研修会
平成 26 年 5 月 9 日(金)	芳賀郡市図書担当者会議
平成 26 年 5 月 21 日(水)	栃木県公共図書館協会総会
平成 26 年 5 月 29 日(木)	レファレンス基礎研修会
平成 26 年 6 月 27 日(金)	中堅ステップアップ研修会
平成 26 年 7 月 30 日(水)	平成 26 年度図書館経営研修会
平成 26 年 8 月 27 日(水)	栃木県公共図書館協会総会
平成 26 年 10 月 21 日(火)	栃木県央公共図書館等連絡協議会研修会
平成 27 年 1 月 22 日(木)	児童サービス研修会

(13) その他

- ・栃木県立図書館をはじめとする各機関からの業務照会事項に対応した。
- ・栃木県内、県外図書館との相互貸借業務を行った。
- ・平成 26 年 10 月 1 日(水)～10 月 3 日(金)まで、蔵書点検を実施した。

3 博物館の統計と事業

(1) 企画展・普及教育事業の開催

① 企画展(2回)

展覧会名	町制施行 60 周年記念 夏の特別展 わが町学校のあゆみ—小学校編—(文書館展示) 福田たねとその子供たち 絵と音楽と書の母子展
会 期	平成 26 年 8 月 2 日 (土) ~9 月 21 日 (日)
観覧者数	2,560 名
展示概要	町制施行 60 周年記念として、文書館がかつて町内に9校存在した小学校の歴史について展示し、博物館では芳賀町出身の明治の女流画家・福田たねとその息子で尺八奏者である福田蘭童、娘で書道家の芥川やす子の作品を展示した。

展覧会名	町制施行 60 周年記念 岩村秀巖と近代日本画
会 期	平成 26 年 11 月 22 日 (土) ~平成 26 年 12 月 23 日 (火祝)
観覧者数	1,410 名
展示概要	芳賀町出身の明治の日本画家岩村秀巖の足跡を紹介した展覧会である。今まで紹介されなかった秀巖の画歴や影響を受けた画家について、さらに同じ年代に活躍した荒井寛方の作品も展示した。

② 共催展(1回)

展覧会名	第3回文星芸術大学による地域文化と芸術の融合 知恵の環・芸術連鎖 展
会 期	平成 26 年 5 月 31 日 (土) ~6 月 22 日 (日)
観覧者数	1,270 名
展示概要	芳賀町在住で、文星芸術大学教授林香君氏プロデュースによる、文星芸術大学教職員・学生による作品展の第4回目。大学と芳賀町との共催として始まり、今回は芸術を通しての繋がり(連鎖)をテーマに展示を行った。

③ 企画展・共催展関連事業

事業名	夏休みワークショップ「パッケージクラフトで動物をつくろう！」
開催日	平成 26 年 8 月 9 日(土)
講師	情報館学芸員
参加者数	6 名

事業名	夏の特別展関連 ギャラリートーク
開催日	平成 26 年 9 月 7 日(土)
参加者数	7 名

事業名	岩村秀巖と近代日本画展関連 ギャラリートーク
開催日	平成 26 年 12 月 6 日(土)
参加者数	11 名

事業名	講演会「近代日本画と日本美術院の流れ―荒井寛方を中心として」
開催日	平成 26 年 12 月 21 日(日)
講師	大木礼子氏(さくら市ミュージアム―荒井寛方記念館―学芸員)
参加者数	23 名

文星芸術大学関係

事業名	第 3 回地域文化と芸術の融合展 知恵の環・芸術連鎖・展 ギャラリートーク
開催日	平成 26 年 5 月 31 日(土)
講師	林香君氏他展示作家
参加者数	21 名

事業名	講演会「子どもの発育と芸術」
開催日	平成 26 年 6 月 14 日(土)
講師	丸山純一氏・田中久美子氏・林香君氏(文星芸術大学教授)
参加者数	25 名

事業名	夏休みワークショップ「光る泥団子を作ろう」
開催日	平成 26 年 8 月 2 日(土)
講師	山崎有美氏
参加者数	19 名



文星芸大展ギャラリートークの様子



ワークショップ光る泥団子を作ろう

④アンケート集計結果

・企画展の期間中、展示室出入り口付近にアンケート箱を設置し、アンケートを行った。

アンケート総数:86

1. 年齢

小学	中学	中学以上 10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上
7	2	2	2	3	10	8	30	15	7

2. 住まい

芳賀町内:29	芳賀町以外の県内:46	県外:11
	宇都宮:13 真岡:6 市貝:6 益子:2 茂木:2 上三川:2 さくら:3 高根沢:1 佐野:2 壬生:1 栃木:2 日光:3 鹿沼:3	埼玉:5 茨城:2 東京:1 神奈川:1 群馬:1 千葉:1

3. 満足度

大変満足	満足	普通	不満	大変不満	無回答
26	44	12	1	1	2

満足度 ≒ 77.7%

4. 開催して欲しい企画展

県立博物館移動博物館	県立美術館館外展	考古	芳賀町の歴史	福田たねの作品	岩村秀巖の作品	その他
10	15	9	15	13	17	3

その他の内容 ・全国的に有名な人のもの

- ・町民所蔵作品展
- ・町の小学校資料をさらに
- ・もっといろいろな企画を

5. 意見・感想など

- ・色々なジャンルの作品があり、楽しかった。(文星)
- ・素晴らしいコラボです。(文星)
- ・毎年のことながら抽象過ぎて解りません。解説付をお願いします。(文星)
- ・町の歴史を大切にしたい企画でうれしく思いました。(夏)
- ・お盆もすんでゆっくり見ることができました。(夏)
- ・折角の記念展なので、展示の写真をもう少し大きくのばしていただけると(夏)
- ・地元を大切にしながら誇りを持たせていただける企画です。(秀巖)
- ・町指定の文化財「くじゃくの図」などの展示を期待していましたが残念(秀巖)

⑤普通収蔵庫の収蔵庫内展示

・普通収蔵庫内において、考古資料・民俗資料を保管及び展示し、小学校の調べ学習、宿題等の活用に使っている。

学校関係見学	5 団体・179 名 (芳賀南小、芳賀北小、芳賀東小他)
自治体・一般他	18 組・131 名
計	310 名

(2) 展示室等の貸出(8回)

会 期	展覧会名	観覧者数
平成 26 年 4 月 17 日(木) ～5 月 9 日(金)	芳賀町写真クラブ・あいらぶ写真展 合同展	456 名
平成 26 年 10 月 7 日(火) ～10 月 19 日(日)	芳賀町写真クラブ結成 45 周年記念写真コンテスト・前田孝憲写真展―猫づくし―	1247 名
平成 26 年 10 月 30 日 (木)～11 月 3 日(月祝)	第 21 回 芳書会書展	216 名
平成 26 年 11 月 7 日(金) ～11 月 9 日(日)	第 33 回 芳賀町民祭 書道展	328 名
平成 27 年 1 月 14 日(水) ～2 月 1 日(日)	第 20 回 芳賀絵画教室作品展	1236 名
平成 27 年 2 月 5 日(木) ～2 月 26 日(木)	芳賀町美術展	503 名
平成 27 年 3 月 21 日(土) ～3 月 29 日(日)	第 8 回 芳賀町書道連盟会員展	385 名
平成 27 年 3 月 3 日(火) ～3 月 8 日(日)	押し花・ポーセラーツ教室展(多目的室)	119 名

(3) 資料の収集

・個人所有の資料について、寄贈・寄託の受け入れを行った。

②寄託資料

資料名	数量
岩村秀巖資料 1 件	11 点
福田たね資料 1 件	5 点

これらの資料は、芳賀町の歴史と文化を語る上で重要なものである。

(4) 保存環境整備

・情報館で資料を収蔵・展示する空間を整えるため、毛髪式温湿度記録計・パッシブインジケータ（酸用・アンモニア用）で環境調査を行い、状況に応じて温湿度の設定の変更、収蔵庫内の空気の入替えなどをし、常に収蔵庫内の環境改善に努めた。

(5) 資料の利用

①他機関への貸出

出展先	栃木県立博物館
貸出期間	平成26年10月1日～平成27年9月30日(継続)
催事名	常設展
貸出資料	免の内台遺跡出土 磨製石鏃(1点)、谷近台遺跡出土 有舌尖頭器(1点)

②出版掲載

出版掲載申請資料	利用先
福田たね作品画像データ	NPO法人安房文化遺産フォーラムにて作品複製パネルを作成の上展示

(6)研修活動

- ・職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修に参加した。

研修日	内容
平成26年4月24日(木)	栃木県博物館協会・理事会
平成26年5月27日(火)	平成26年度博物館文化財セミナー
平成26年10月22日(水)	平成26年度栃木県博物館協会研修会・情報交換会
平成26年12月4日(火)	平成26年度文化庁委託事業「文化財(美術工芸品)等緊急保全活動・現況調査事業」研究会
平成27年3月9日(月)	全国美術館会議 第29回学芸員研修会

(7)その他

- ・美術資料(岩村秀巖資料 掛け軸1幅《山水図》(SY00156)紙本墨画)(福田たね資料 《婦人像》油彩・カンヴァス)の修復を行った。
- ・平成26年度は町制施行60周年記念企画展「福田たねとその子どもたち」展及び「岩村秀巖と近代日本画」展を行ったが、共に芳賀町にとって貴重な資料であるため、展示終了後も継続して調査を行った。
- ・芳賀チャンネルの番組「行くぞ!はがまる探検隊」(福田たねと青木繁のロマンスの謎を探る)制作のため、文献や写真等の資料を提供するとともに学芸員が番組に出演した。
- ・茂木町教育委員会から、学芸員業務を経験するために茂木町職員1名の受入を行った。

4 文書館の統計と事業

(1)資料の移管・収集

①文書の移管

- ・各課から保存期間満了文書の受け入れを行った。また、移管については、平成 24 年度より、年度当初の文書整理作業と連動したかたちで、役場書庫において廃棄前文書を確認選別する方式に改めた。
- ・各課等で作成された刊行物を収集するとともに、各課から依頼のあった歴史資料となる可能性のある文書等を随時受け入れた。

②資料の預託

- ・寄託依頼のあった個人所蔵資料(2件)について、整理作業のために預託を受けた。

(2)資料の整理

- ・芳賀町小学校統廃合過程で収集した学校資料(モノ資料を除く)について、評価選別を行い、クリーニング、目録作成等の資料整理を行った。

(3)資料の燻蒸処理

- ・学校資料等の燻蒸を行った。薬剤は、アルプ(酸化プロピレンとアルゴンの混合剤)を使用し、委託会社保有燻蒸施設に資料を引き渡して作業を行った。

(4)資料の利用と普及

①レファレンス

- ・芳賀町の歴史・文化に関する問い合わせに対応し、文書館資料等の提供を行っている。平成 26 年度は、町内外の利用者、役場職員を含めて 111 件(提供資料及び情報 411 件)の問い合わせがあった。なお平成 26 年度は、芳賀町町制施行 60 周年記念にあたり、その関連によって資料の提供が増加した。

レファレンス事例

質問 1	昭和 29 年 3 月 31 日町村合併直前の各町村の職員数、合併直後の職員数が知りたい。
回答 1	『栃木県市町村合併誌 第一巻』に芳賀町合併の経緯が纏められており、合併前後の組織構成、職員数については、それで確認できる。また、芳賀町町制施行 50 周年記念誌にも組織変遷が掲載されているが、カウントの方法が異なると思われ、両者の職員数には差異がある。このほか、永年保存文書で、合併前後の職員数を期した文書を確認することができる。

質問 2	学校資料の展示を見せてもらった。これから芳賀中学校の同窓会を行う予定がある。その時に小学校や中学校の写真を収録した冊子を製作したいと思っているので、学校の写真資料を利用したい。
回答 2	展示写真資料については、企画展終了後に提供することできる旨回答した。芳賀中の写真は十分に収集できていないので、芳賀町町制施行 50 周年記念誌で使用した写真や「広報はが」のデジタルデータから時期に見合

	った写真を提供する。最終的なデータ提供件数:70点。また、併せて小学校の歩み(年表)データを提供する。
--	---

質問 3	芳賀チャンネル(町制施行 60 周年記念 あの時、この時)で、運動会の歴史を放送する。過去大会の大字別の優勝回数を知りたい。
回答 3	永年保存文書に「町民体育祭記録簿」(ファイル3冊)があり、実施期日、順位等を知ることができる。ただし、初期の大会は不明だったので、「わが町のあゆみ」(芳賀町広報)の記事で補足するが、完全に歴代順位を判明させることはできない。歴代順位が完全なかたちで判るのは、昭和 41 年度以降である。今回は、この町民体育祭記録簿と広報紙を基に、町民体育祭の優勝一覧表を作成した。併せて、運動会開催の歴史に係る概要を調査した。

質問 4	高橋小学校の同窓会をするのだが、校歌と楽譜が欲しい。
回答 4	高橋小学校閉校記念誌に楽譜と校歌が掲載されているので、提供する。

質問 5	下高根沢安住神社に関わることで、「塚まるめ」について知りたい。
回答 5	『芳賀町史通史編 民俗』に庚申講についての記述(375p～)があり、そのなかで「塚まるめ」についても言及がある。また、庚申講については、『ふるさとこぼれ話 増補改訂版』のなかで説明されている(100p)。「庚申講は、1年に6回ある庚申(かのえさる)の日に当番の家で、庚申講を行い、日待ちをして飲食をする行事。農家が農業の安全を祈る講。1年に7回、庚申の日がある年を「七庚申」といい、18年に一度くらいある。七庚申の年は、マルメコウシン(丸め庚申)といって一区切りとして庚申塚をつくり、杉の木を植えた。この塚をツカマルメと呼んだ。石塔を建てる以上に大きな塚のことを意味するという。

②資料の閲覧件数

・芳賀町史収集資料、公図等文書館資料の閲覧:137 件

③文書館講座

・芳賀町を中心とする地域の歴史に触れることにより、参加者の地域アイデンティティを醸成するとともに、記録資料等の保存の大切さ等を学び、芳賀町総合情報館の開設意義等を深めるために講座を開催した。なお、平成 26 年度は、芳賀町町制施行 60 周年に関連させた町村合併についての講座、「芳賀の食と歳時記」をテーマとする連続講座を開催した。

テーマ	町村合併と近代史－日本近代化のなかの芳賀郡町村合併－
開催日	平成 26 年 9 月 6 日(土)
講師	松沢裕作氏(慶応義塾大学経済学部准教授)
参加者数	27 名

「芳賀の食と歳時記」第 1 回

テーマ	芳賀の正月～正月は何故めでたいのか～
開催日	平成 26 年 11 月 29 日(土)
講師	篠崎 茂雄氏(栃木県立博物館特別研究員)
参加者数	13 名

「芳賀の食と歳時記」第 2 回

テーマ	芳賀の節句～節句に込められた願い～
開催日	平成 26 年 12 月 14 日(日)
講師	篠崎 茂雄氏(栃木県立博物館特別研究員)
参加者数	10 名

「芳賀の食と歳時記」第 3 回

テーマ	芳賀の盆～先祖様の迎え方
開催日	平成 26 年 12 月 20 日(土)
講師	篠崎 茂雄氏(栃木県立博物館特別研究員)
参加者数	13 名

④国立国会図書館レファレンス協同データベース(レファ協)の活動

・レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が、全国の公立図書館等と協同で構築運営している検索サイトである。文書館には多種多様な問い合わせが来る。それらに対して、どのような回答を行ったのか、平成 25 年 12 月 26 日、芳賀町総合情報館として登録し、様々な芳賀町に関する問い合わせとその回答を登録し、インターネット上から自由に検索することができるようにした。なお、国立国会図書館から、レファレンス協同データベース事業に貢献した館として、平成 26 年度企画協力員賞を受賞した。

- ・平成 25 年度登録件数: 12 件
- ・外部からの芳賀町の事例に対するアクセス数: 4,345 件

⑤文書館の展示

・統廃合により閉校した9小学校の資料を活用し、小学校の歩みを振り返る「わが町学校のあゆみ展ー小学校編ー」を開催した。



学校資料の整理作業風景



「わが町学校のあゆみ展」展示風景

⑥芳賀チャンネルへの情報提供・出演

・芳賀チャンネルの番組「行くぞ！はがまる探検隊」制作のため、文献や写真等の資料を提供した。また、芳賀町施行 60 周年番組制作のため、文献、写真、統計データ等の資料を提供した。

(5)外部活動

・宇都宮大学教育学部からの依頼により、教育学部「社会」の講義を行った。

開催日	平成 26 年 12 月 12 日(金)
出張先	宇都宮大学教育学部
内容	「アーカイブズとは何か―学校に残されてきた資料を通じて考える―」 と題して、文書館の学校資料を素材として講義した。

・小学校の社会科授業に出張し、芳賀町の文化財等について説明を行った。

開催日	平成 27 年 3 月 13 日(金)、20 日(金)
対象学校	芳賀北小学校(3 学年)、芳賀東小学校(3 学年)
内容	小学校に出張し、社会科授業単元「のこしたいもの つたえたいもの」 の中で、芳賀町の文化財や年中行事について解説した。

5 総合情報館の統計と事業

(1) 総合情報館運営協議会

・総合情報館の円滑な運営を図るために、芳賀町の各種団体の代表者、学識経験者等(10名)により構成し、運営内容の検討等を行った。

開催日	協議事項
平成26年7月24日(木)	・委員委嘱 ・正副会長の選出について ・平成25年度事業報告について ・平成26年度事業計画について ・指定管理者制度の導入検討について
平成26年10月9日(木)	・視察研修(宇都宮市立南図書館、壬生町立図書館)
平成26年11月26日(水)	・平成26年度上半期事業報告について ・指定管理者制度の導入について
平成27年1月20日(水)	・指定管理者制度導入の検討について ・平成27年度事業計画について

(2) 視察・施設見学

受入日	視察・見学者
平成26年5月20日(火)	北海道美幌町議会総務文教厚生常任委員会(8名)
平成26年8月12日(火)	さくら市ミュージアム・荒井寛方記念館
平成26年9月13日(土)	南高根沢子供会育成会連絡協議会(29名)
平成26年10月23日(木)	芳賀北小学校「芳賀町探検隊」施設見学(3学年・56名)
平成26年11月27日(木)	小山市立博物館「博物館めぐり」施設見学(42名)
平成26年12月4日(木)	芳賀北小学校「生活科」施設見学(2学年)
平成26年12月6日(土) ～9日(火)	筑波大学人文・文化学群比較文化学類地域文化研究 領野 日本・アジア領域「日本研究実験実習」施設利用及び見学(15名)

(3) 館内施設利用実績

※申請書提出分の実績

室名	利用件数	利用日数
多目的室	29件	48日
会議室	10件	10日

(4) 広報紙の発行

芳賀町総合情報館（知恵の環館）

〒321-3307

栃木県芳賀郡芳賀町祖母井南一丁目1番地1

TEL 028-677-2525/FAX 028-677-2886

E-MAIL johokan@town.haga.tochigi.jp

<http://www.town.haga.tochigi.jp/>

発行日：平成27年7月15日

発行：芳賀町生涯学習課総合情報館係